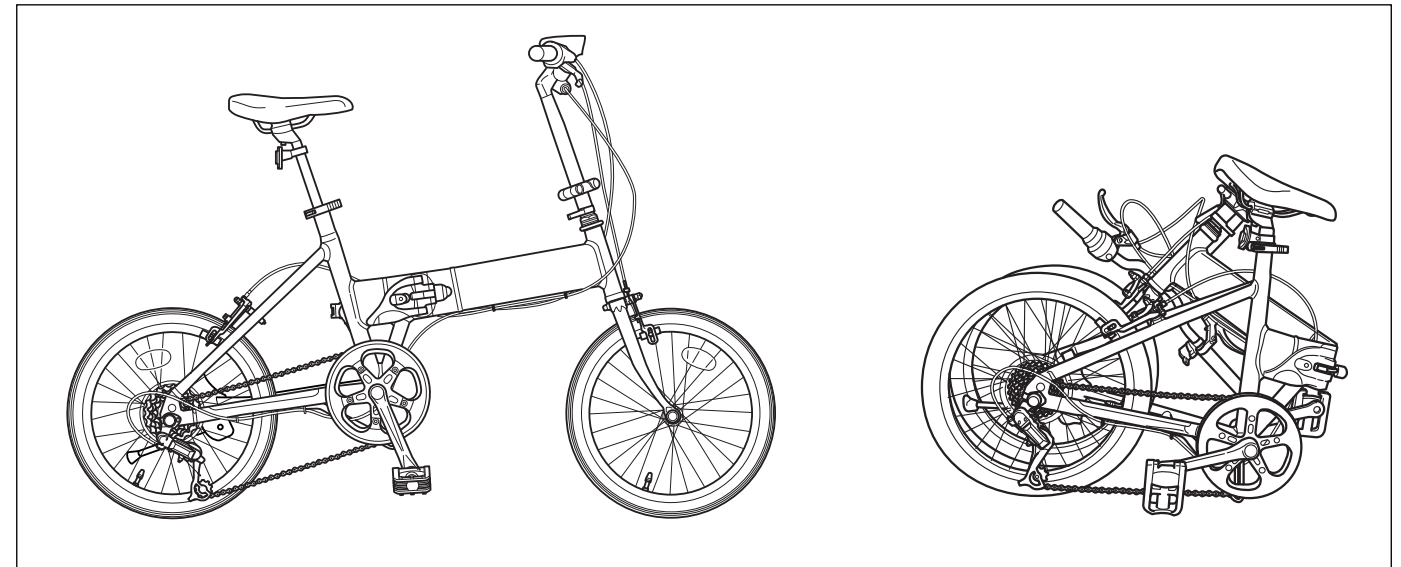


取扱説明書 折りたたみ自転車

L I G H T W I N G (ライトウイング) 品 番 **B-TW872E**
a l u m i n u m f r a m e



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよく読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- この自転車は、通勤、通学、買い物などの日常生活用として設計されています。
- 新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

お知らせ

- この自転車に幼児用座席を取付けることはできません。

保証書別添付

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック サイクルテック株式会社(およびその関係会社)は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東 北 地 区 (022) 382-7791	東京・関東地区 (0422) 34-4117
埼玉・新潟地区 (0480) 93-8071	栃木・茨城地区 (0286) 52-5046
中部・東海地区 (0568) 72-6231	近 畿 地 区 (072) 975-4100
中国・四国地区 (082) 870-7776	九州・沖縄地区 (092) 621-8811

※受付時間 平日(土・日・祝日および年末年始等の連休を除く) 9:00～17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室(下記)におかけなおしてください。また、Fax をご利用される場合も当社お客様相談室にお願いいたします。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
Tel : (072) 977-1603
Fax : (072) 977-5611
受付時間 9:00～20:00

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

もくじ

乗るまえに	
●安全上のご注意	2
●各部のなまえ	8
●乗るまえの準備 (組立手順)	10
●乗るまえの点検	14
●乗るまえの調整	16
●正しい取扱い方法	19

乗りかた

●乗ったあとは… (折りたたみ手順)	22
--------------------	----

必要なとき

●お手入れ／保管／廃棄	24
●注油について	25
●定期点検	26
●盗難補償とアフターサービス	27
●自転車安全基準／BAAマーク	28
●オプション (別売部品)	29
●仕様	30

安全上のご注意（１）

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。
		気をつけていただく内容です。

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために次のことを守りましょう！

警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない

はめ合せ限界標識

シートポストが折れて、転倒するおそれがあります。

■網棚には載せない

落下しやすく、事故のおそれがあります。

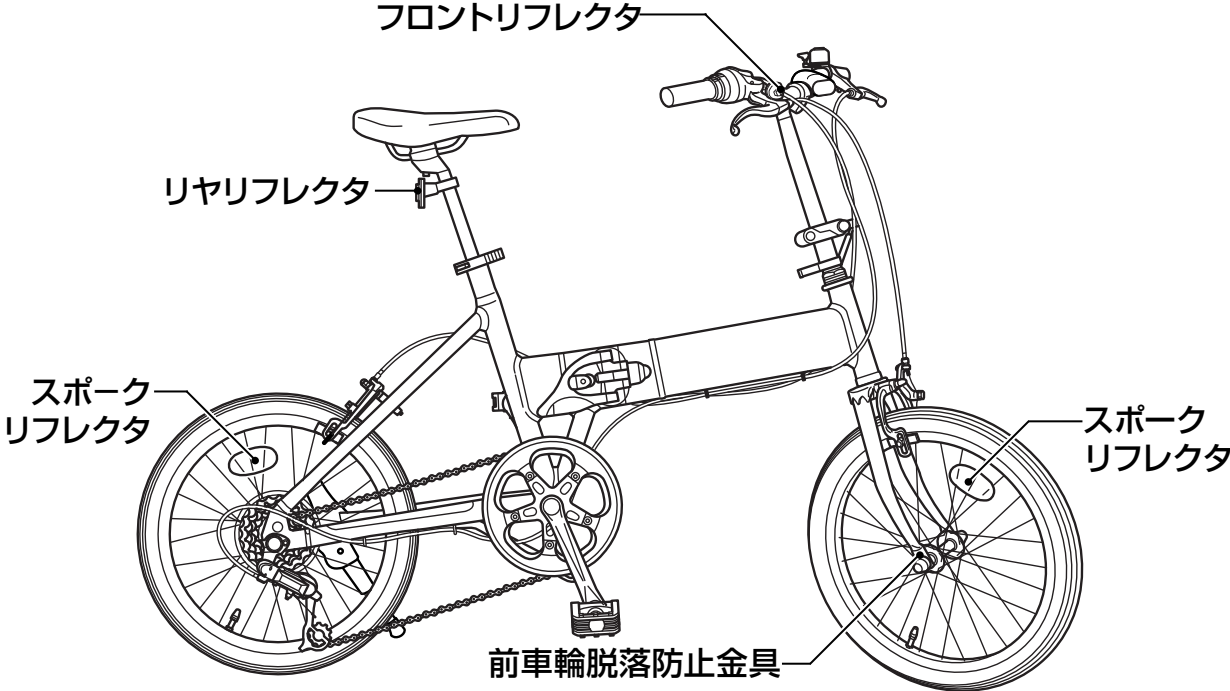
●他の人に迷惑がかからないように車内の隅や足下に置いてください。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

分解禁止

部品の破損や、ブレーキが効かなくなって、転倒や衝突のおそれがあります。

- 公共交通機関（列車、バス、地下鉄等）を利用される場合のお願い**
- ①オプションの輪行バッグに収納してください。
 - ②交通機関の係員の指示に従ってください。
 - ③他のお客様の邪魔にならないように気をつけてください。
 - ④できるだけ安定した床面においてください。
落下すると事故の原因になるので、網棚には載せないでください。
 - ⑤自転車本体やオプションパーツについている警告マークや注意マークは、取り外さないでください。



警告

■ハブステップなどの突出物を装着しない

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

■安全装置は取り外さない

外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

■安全装置

スポークリフレクタ

横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具

前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクタ（後部反射器）

後からの光を反射します

フロントリフレクタ（前部反射器）

前からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。（リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

安全上のご注意(2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

- 図のように販売店で調整してもらってください。
- 操作して確認してください。
 - ①円滑なペダリングができる。
 - ②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
 - ③ハンドル操作が容易にできる。



ペダルはつま先で踏む つま先が地面に着くように

必ず点検をしてください

- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗る練習は必ず行ってください

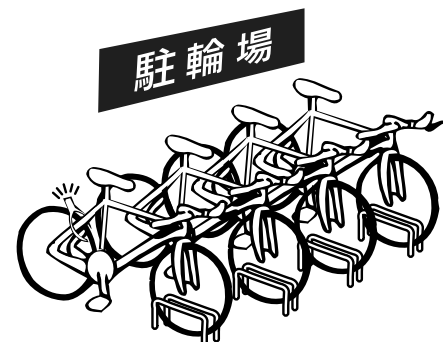
- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



■乗ったあとは

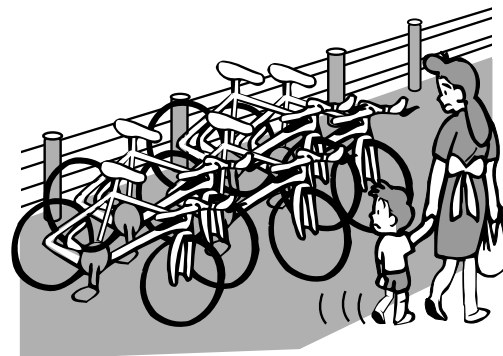
決められた場所に駐輪してください

- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

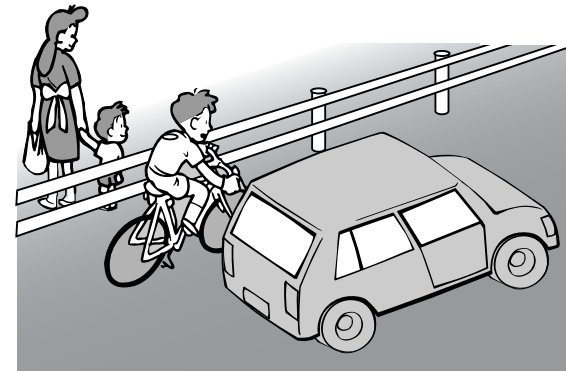


■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

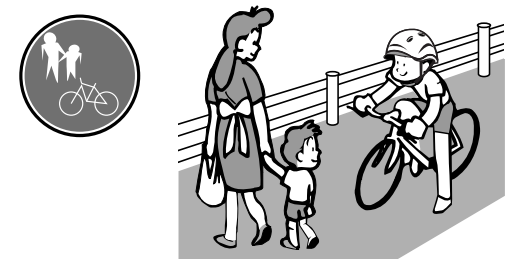
- 歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます

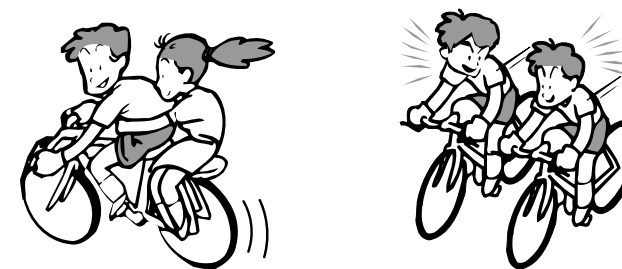
(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

- 自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
- 運転者が児童、幼児等の場合。
- 車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



二人乗り、並進は禁止

- 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
- 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。



交差点では一時停止と安全確認を

- 一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
- 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



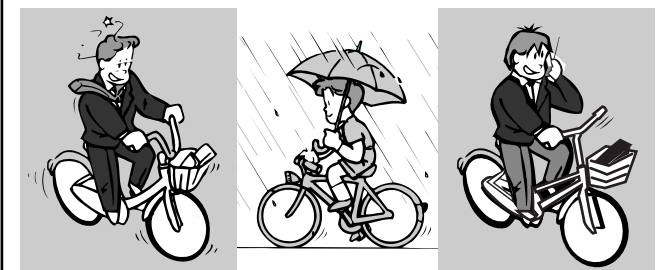
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

- 夜の無灯火運転は交通違反です。
- 暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はやめましょう

- 飲酒運転
- 携帯電話を操作しながらの運転
- 傘さし運転
- ヘッドフォンを使用しながらの運転



安全上のご注意(3) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！

安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！



開くドアや人の飛び出しに注意する



学校や公園が近くにあるときに！



子供の飛び出しに注意する



交差点を通るときに！



左折車に巻き込まれないように注意する



転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

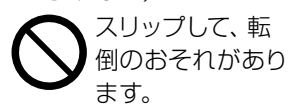
■合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

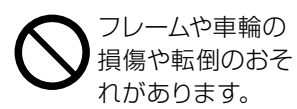
こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



●降りて、押して歩いてください。

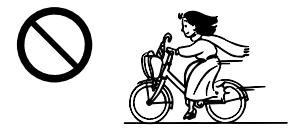
■凹凸の激しいところを走らない(歩道の段差や、溝など)



●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



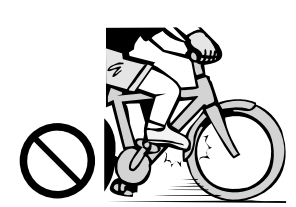
車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒のおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない



カーブでつま先が前車輪にあたり転倒のおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒のおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない



ペダルが地面と接触し、転倒のおそれがあります。

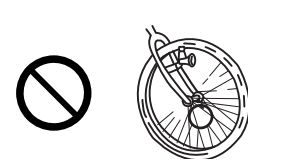
こんな使い方

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



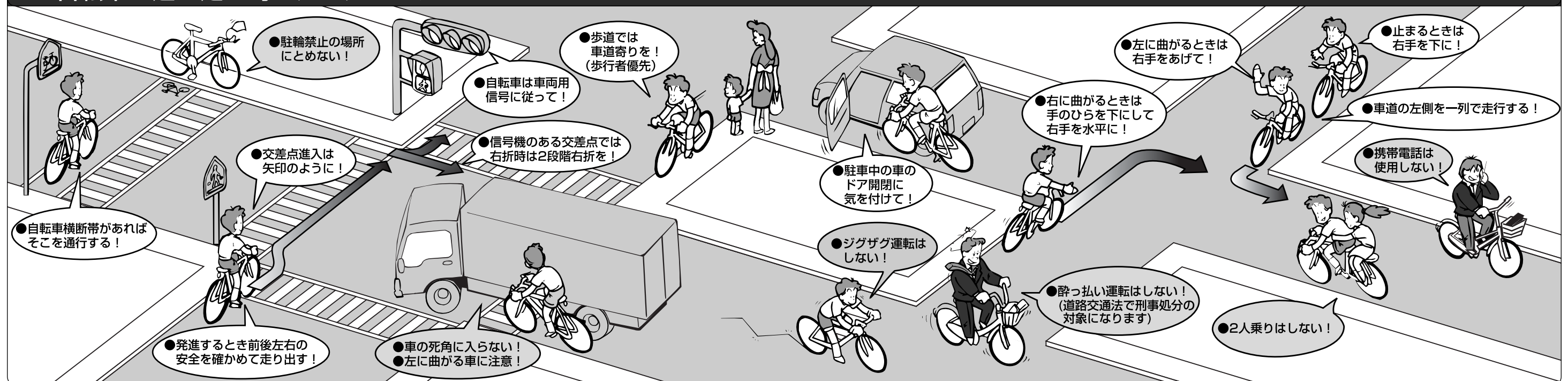
転倒のおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



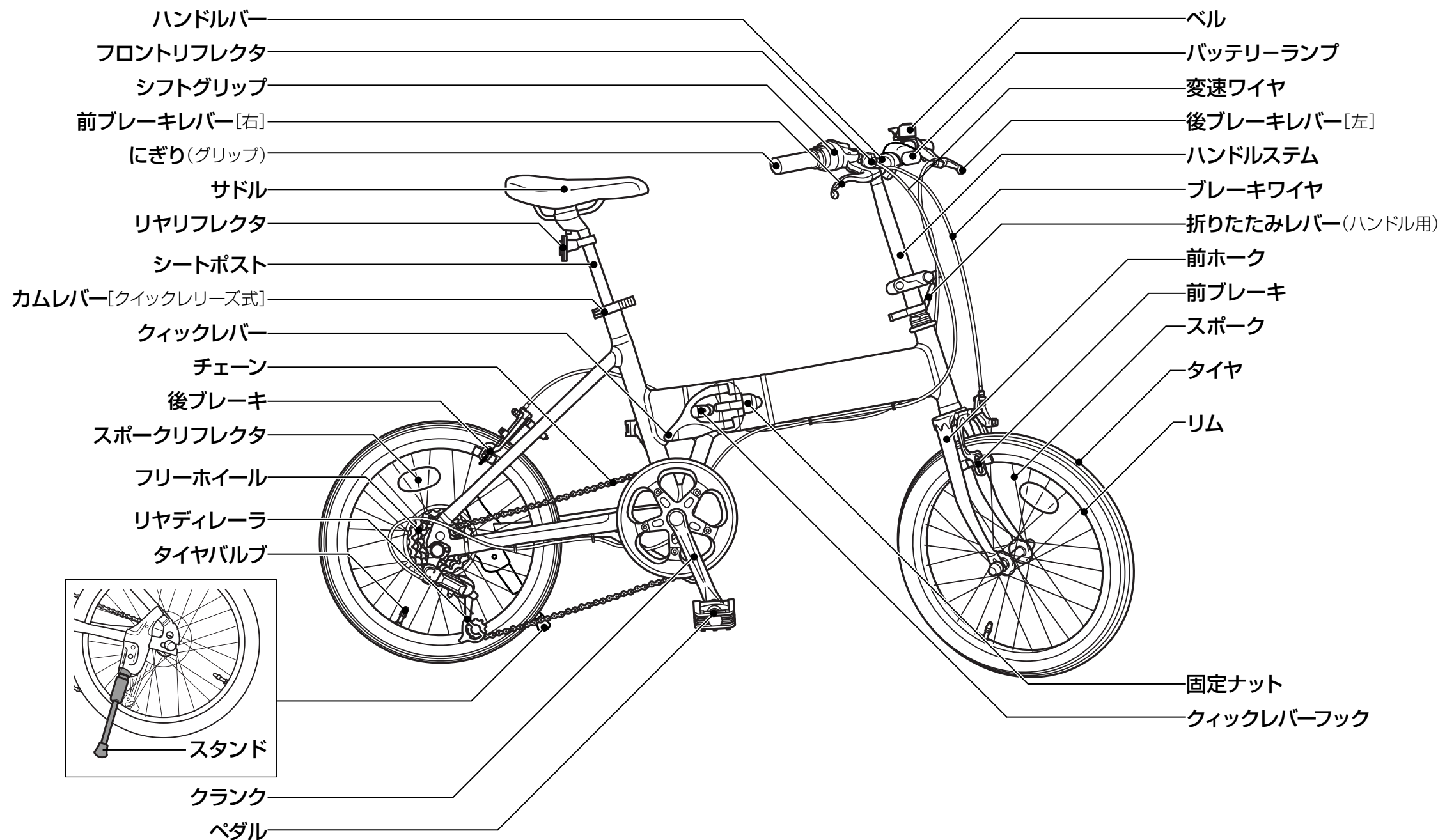
車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー



各部のなまえ

乗るまえに



乗るまえに

■付属品

警告

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

⊘ スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒するおそれがあります。

●ワイヤ錠 1本

●締付けバンド 2本

●取扱説明書／保証書

キー番号プレートは、ワイヤ錠から外して、別の場所に保管しておくことをお勧めします。

■車種品番表示

●車種品番の見方

B-TW872E S

車種品番 色

■車体番号 (刻印位置 右側)

防犯登録に必要で、9文字(数字と英字)で表示しています。

■フレーム体

立パイプ (シートチューブ)

バックホーク (シートステー)

ヘッドパイプ (ヘッドチューブ)

メインパイプ (メインチューブ)

チェーンステー

1 フレーム体を組立てる。



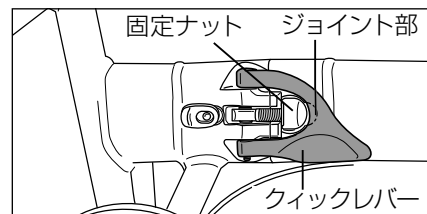
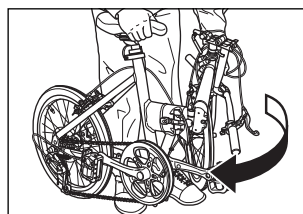
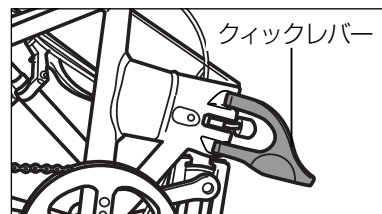
警告

■ジョイント部分を持って開かない



指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

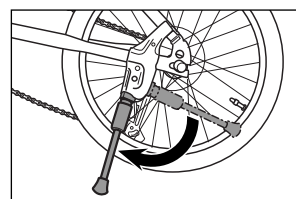
- ①クイックレバーが進行方向(前方)にあることを確認し、二つ折りになっている自転車を開く。固定ナットがジョイントへ入り込み、仮固定します。



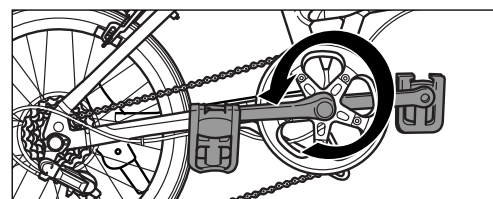
お知らせ

- クイックレバーが進行方向(前方)に向いていないと、ジョイント部へ固定ナットが入り込みません。

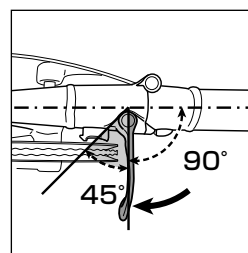
- ②スタンドを立てる。



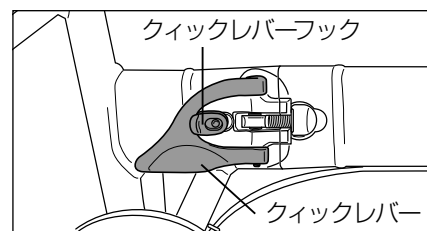
- ③右側のペダルが後方になるように、ギヤクランクを回転する。



- ④クイックレバーを後方へ回転させる。



- ⑤クイックレバーをクイックレバーフックに引っ掛かるまで、確実に締める。

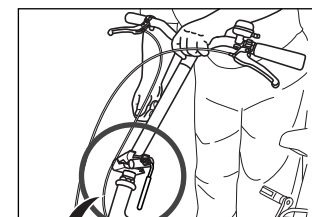


お知らせ

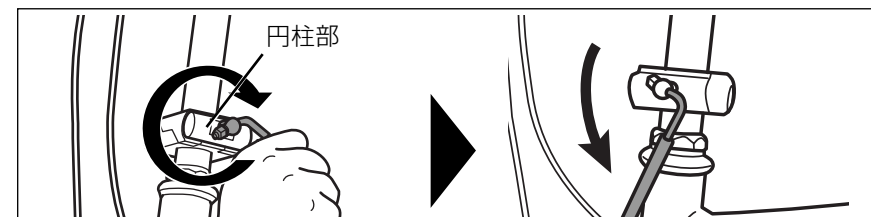
- クイックレバーの回転が、フレームと直角の位置にくるまでに、重くなったり、後方 45° の位置を超えても手ごたえがない場合は、販売店にアジャストナットの調整をご依頼ください。

2 ハンドルを組立てる。

- ①ハンドルを立てる。



- ②折りたたみレバーは、時計方向にカー杯締付けた後、下げる



1. 円柱部が「カチッ」とはまり込んだのを確認する。
2. レバーを締め付ける。

3. 折りたたみレバーを下げる

お願い

- 組立て後は、ハンドルが確実に固定され、がたつきがないことを確認してください。

お知らせ

- ハンドルの高さは調整できません。

3 ペダルを組立てる。



警告

■▲マークをあわせる



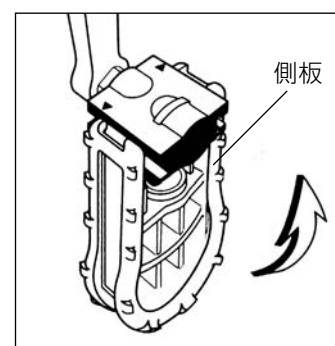
拡大図



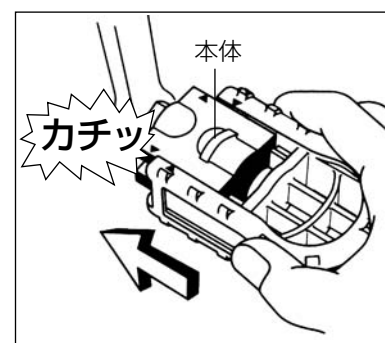
マーク

側板が突然折りたたまれ、転倒するおそれがあります。

- ①側板を水平に上げる。



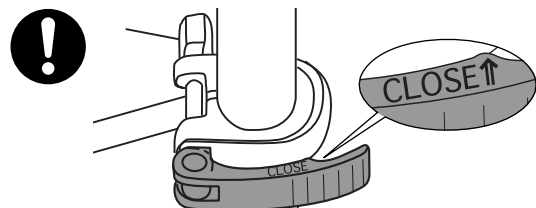
- ②側板を「カチッ」と音がするまで本体に押しこむ。



4 カムレバーの初期調整をする。

警告

■カムレバーは、CLOSE の文字
横の矢印の方向に閉める



固定が外れ、転倒するおそれがあります。

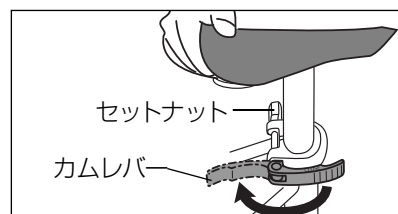
注意

■カムレバーをゆるめるときは、サドル
を支え持つ

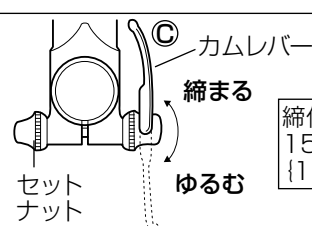


サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

①サドルを支え持ちながらカムレバーをゆるめる。



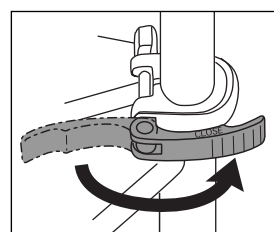
②セットナットを回転させ、固定の強さを調整する。



締付トルク
15 N・m
{150 kgf・cm}

カムレバーでシートポストを固定するとき、カムレバーが、◎の位置でシートポストの固定がゆるい場合はカムレバーをいったんゆるめ、調節ナットを 1/2 ～ 1 回転締込み、再度カムレバーを◎の位置まで締込んでください。

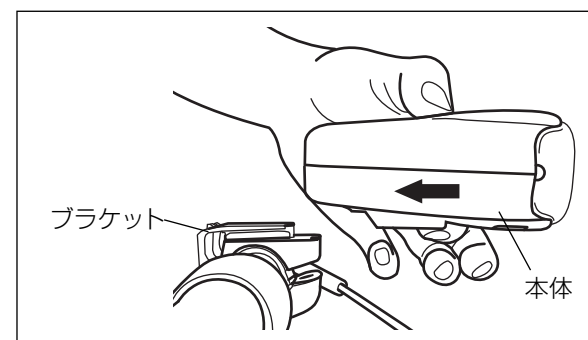
③カムレバーを回転させずに、開閉によって締付ける。



5 ランプの取付・取外し

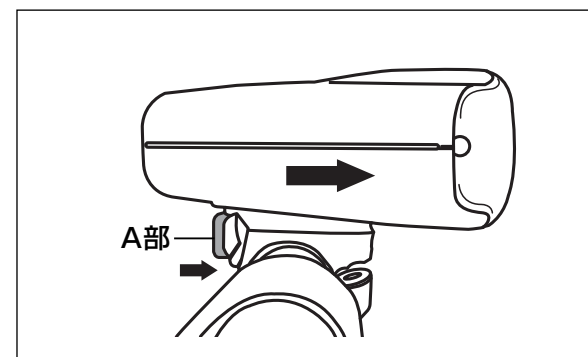
取付

本体をブラケットにカチッと音がするまでスライドします。



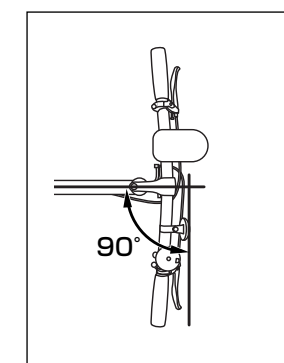
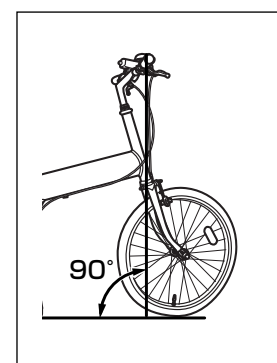
取外し

A部を押さえながら本体をスライドさせて外します。



6 フロントリフレクタの角度調整

反射面が地面及び後車輪に対して直角になるように角度を調整してください。



締付トルク
(3～4.5) N・m
{(30～45)kgf・cm}

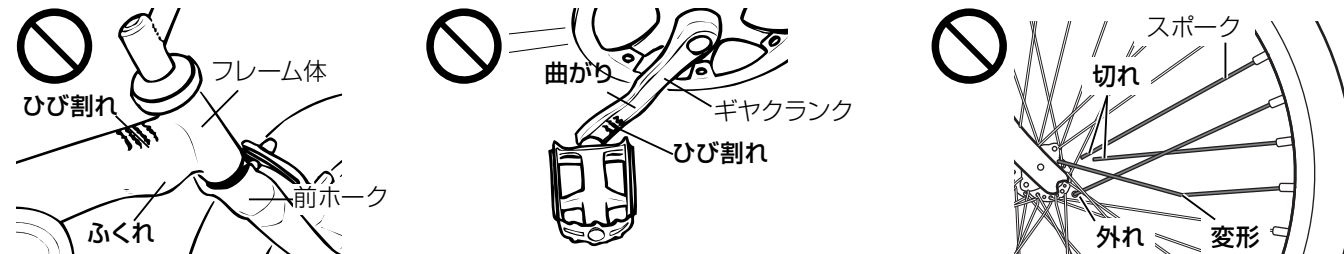
乗るまえの点検

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

警告

■ひび割れや変形したままで走行しない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。

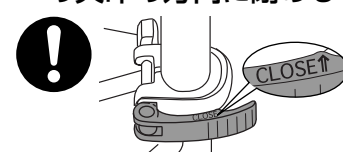
- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■はめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■カムレバーは、CLOSEの文字横の矢印の方向に閉める



■乗るまえの点検は、必ず実施する

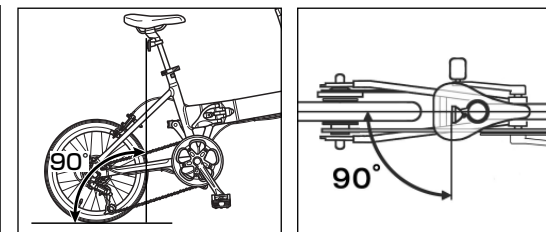
- ! 事故や転倒のおそれがあります。
- 前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

■点検で異常があったときは、乗車しない

- ! 事故や転倒のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

リヤリフレクタ

- ◎割れや、汚れはないか?
- ◎後からの光を反射する角度になっているか?



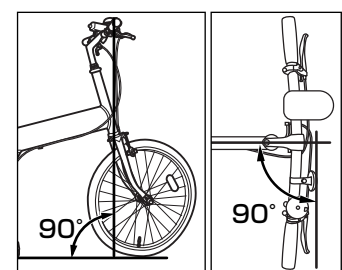
サドル

- ◎はめ合せ限界標識が、見えていないか?
- ◎シートポストの固定は確実か?
- ◎サドルに座って、両足が地面につくか?
- ◎ペダルをこぐとき、ひざがハンドルに当たらないか?

- にぎり (左右とも)
- ◎ひび割れはないか?
- ◎抜けはないか?

フロントリフレクタ

- ◎割れや汚れはないか?
- ◎前からの光を反射する角度になっているか?



ベル

- ◎よく鳴るか?

バッテリーランプ (19 ページ)

- ◎点灯するか?
- ◎がたつきは、ないか?
- ◎取付角度は適切か?

前・後ブレーキレバー (17 ページ)

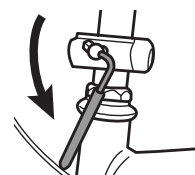
- ◎よく効くか?
- ◎ワイヤのさびやほつれはないか?
- ・固定は確実か? ・作動は円滑か?

ハンドル・ハンドルステム

- ◎固定は確実か?
- ハンドルの高さ調整はできません。

ハンドル折たたみ部

- ◎ハンドル固定レバーは下がっているか?



スポークリフレクタ

- ◎割れやがたつきは、ないか?

前ブレーキ (ブレーキブロック)

- ◎すりへっていないか?
- ◎異物は付いていないか?

ハブナット

- ◎車輪にがたつきは、ないか?

ジョイント部の固定

- ◎がたつきがないか?
- ◎クイックレバーは、クイックレバーフックに引っ掛かっているか?



クランク

- ◎がたつきは、ないか?

ペダル

- ◎側板の固定は確実か?

後ブレーキ (ブレーキブロック)

- ◎すりへっていないか?
- ◎異物は付いていないか?

チェーン

- ◎空回りしないか?
- ◎小石等が挟まっていないか?
- ◎歯飛びや異音 (バリバリ音等) はないか?
- ◎油切れはないか?

車輪 (前後とも)

- ◎リム……振れ、変形はないか?
- ◎スポーク……曲がり、折れはないか?
- ◎ハブ……がたつきはないか?
- ◎タイヤ……摩耗、切傷はないか?
- 異物は付いていないか?
- 空気圧は適正か? (18 ページ)

乗るまえに

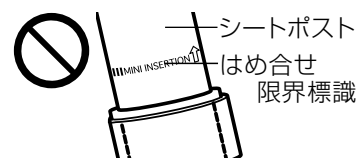
乗るまえの調整(1)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■サドルの調整

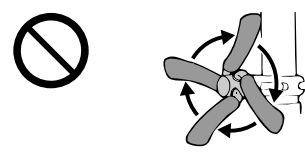
⚠ 警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

■カムレバーを回転させて締めつけない

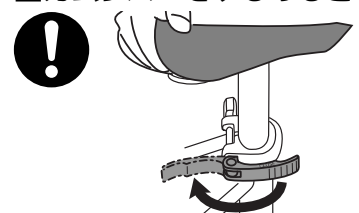


■調整後は必ず点検をする



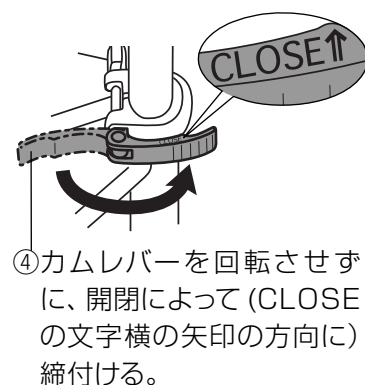
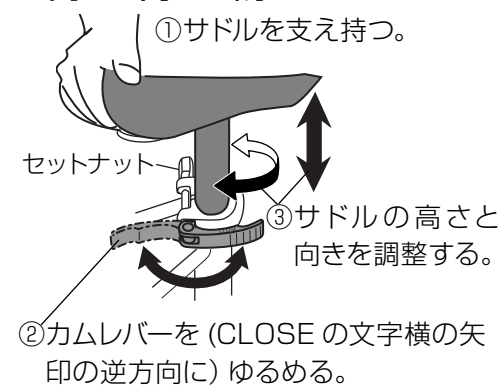
⚠ 注意

■カムレバーをゆるめるときは、サドルを支え持つ

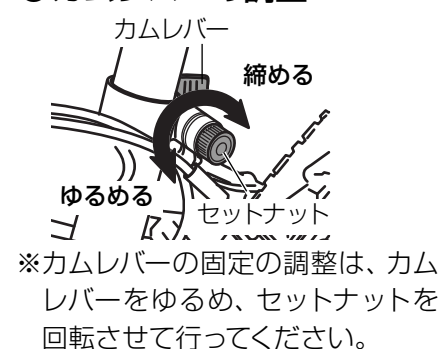


サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

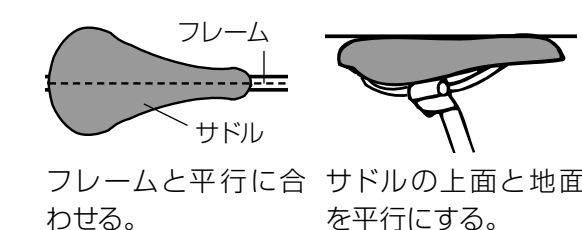
●高さとの調整



●カムレバーの調整



●サドルの正しい方向と角度



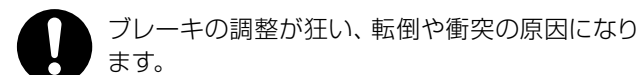
お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

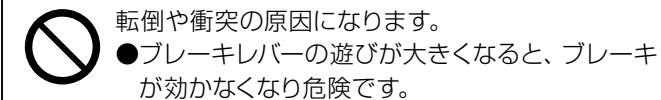
■ブレーキの調整 (販売店に依頼されることをお勧めします。)

⚠ 警告

■ロックナットは確実に締め付ける

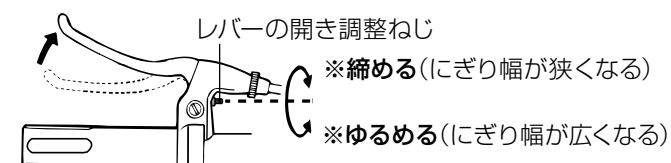


■ブレーキレバーの遊びが大きのまま走行しない



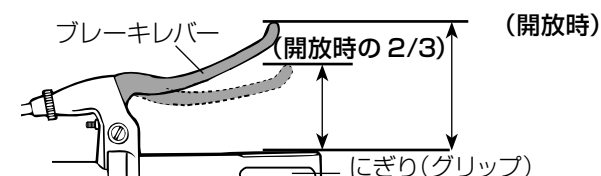
●ブレーキレバーの開き調整

手のにぎり幅に合うように、調整ねじを回して調整してください。



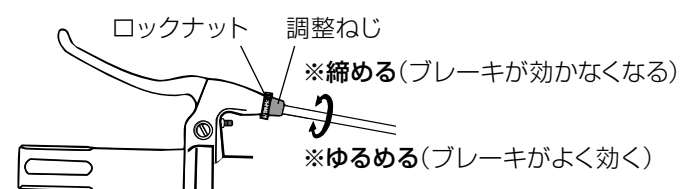
●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の2/3の位置で、ブレーキが効くように、調整する



●ブレーキの調整

ブレーキをかけてよく効かない場合には、ロックナットをゆるめて、調整ねじで調整した後、ロックナットを必ずもとどおり確実に締めつけてください。それでも効かない場合は、販売店で調整を依頼してください。



乗るまえの調整（2）

■空気圧の点検（前後のタイヤ）



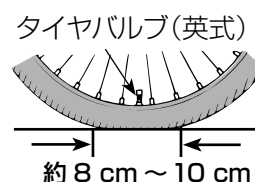
警告

■適正空気圧の範囲を守る

- 範囲外の空気圧は、不安定な走行やスリップの原因になります。
- 自転車に乗った状態で接地部の長さが 8 cm ～ 10 cm 又は空気圧が 200 kPa ～ 300 kPa にしてください。

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 8 cm ～ 10 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。



お知らせ

- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。

●空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

kPa 表示	240
(PSI 表示)	35
{kgf/cm ² 表示}	2.5

※ (PSI 表示) と {kgf/cm² 表示} は、参考として示したものです。

■バッテリーランプの点検



警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

- 前方を照らす角度がくるい、衝突や転倒のおそれがあります。

■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

- 衝突や転倒のおそれがあります。
- ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

●照らす位置



お願い

- 角度の調整は販売店にご相談ください。

正しい取扱い方法（1）

■バッテリーランプの取扱い



警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

- 前方を照らす角度がくるい、衝突や転倒のおそれがあります。
- 乗る前に点検してください。

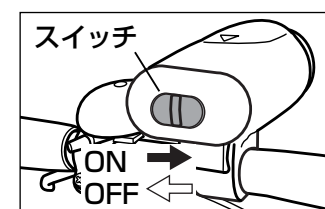
■走りながら、スイッチの操作をしない

- 片手運転になり、転倒のおそれがあります。
- 停止して、手で操作してください。

■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

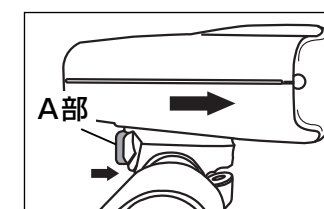
- 衝突や転倒のおそれがあります。
- ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

●点灯のしかた



スイッチを右側にすると点灯し、左側にすると消灯します。

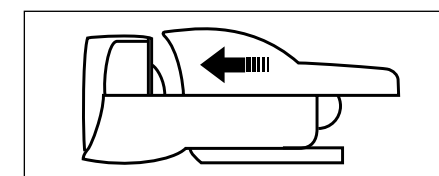
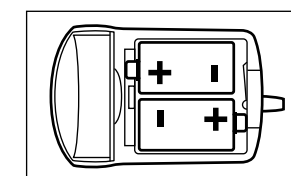
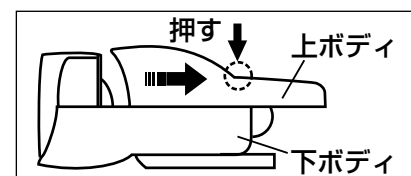
●本体の取り外しかた



A部を押さながら本体をスライドさせて外します。
取り付け方はカチッと音がするまで前方にスライドさせます。

●電池の交換方法（電池は単 2 形乾電池をご使用ください。）

- ① 丸印の部分を押しながら、上ボディを後ろへスライドさせます。
- ② 電池を交換する
- ③ 下ボディに上ボディをのせ、パチッと音がするまで前へスライドさせます。



お知らせ

- 使用時間の目安は、連続 8 時間（アルカリ電池使用時）です。
- 取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。

●電球の交換

※電球仕様 2.5V—0.5A ハロゲン球（口金 P13.5S）

お願い

- 電球の交換は販売店にご相談ください。

■乾電池の取扱い



危険

- 電池の電解液が目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

- 失明やけがのおそれがあります。



警告

■乾電池の使用は次のような使い方をしない

- 充電しない
- 電池を火の中に投入しない
- 新旧・異種の電池を混用しない
- 電池をショートさせない
- 電池の⊕⊖を逆にして使用しない
- 使用済電池を使用しない

使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂したり、けがのおそれがあります。

正しい取扱い方法（2）

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速のしかた（外装 7 段変速）



警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度 12 km / h ~ 15 km / h
衝突や転倒による事故の原因になります。

■次のような変速はしない

- ペダルを止めたままの変速
- ペダルを逆転させながらの変速
- ペダルを強く踏みこみながらの変速
- 停止しているときの変速
- グリップを無理に回転させる変速

事故や故障の原因になります。

■一度に 2 段以上変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒するおそれがあります。
●1 段ずつ変速してください。

■漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

間違った変速操作をすると事故や故障の原因になります。
●初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

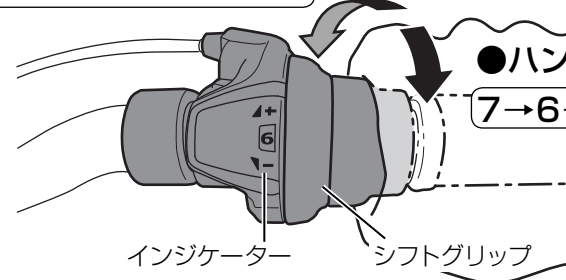
お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときは販売店にご相談ください。
- シフトグリップを無理に回転させる変速はしないでください。（変速機を傷める原因になります。）

●外装 7 段シフトグリップ

●ハンドルの外側に回す。

1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7



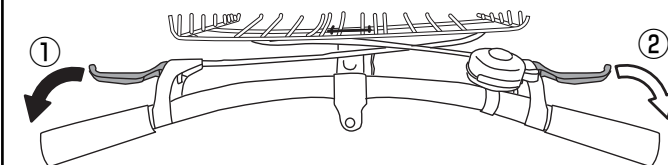
●ハンドルの内側に回す。

7 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1

1	ペダルの回転が軽くなる
↑ ↓	↑ ↓
7	ペダルの回転が重くなる

■ブレーキのかけかた

- ① 後ブレーキを先にかけてから
- ② 前ブレーキをかける。



お願い

- 急な坂道のときは、降りて押してください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。
- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。



警告

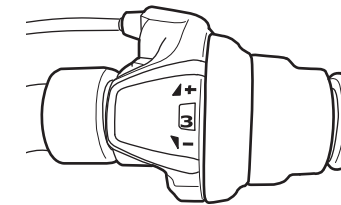
■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

■変速位置のめやす

（標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力にあわせ、適切な変速位置をお選びください。）

平地を走るとき

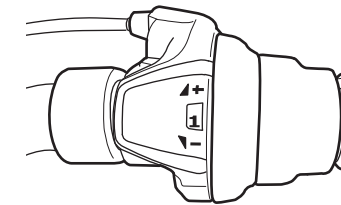


3（または 4）

に合わせる

発進するときは、1 にすると楽です。

上り坂のとき



坂の手前で

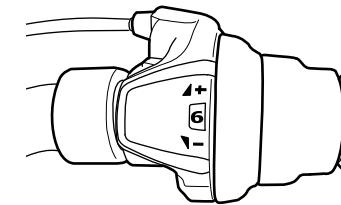
1（または 2）

に合わせる

きつい上り坂のときは、1 にすると楽です。

●急な坂道のとき⇒降りて押す。

下り坂のとき



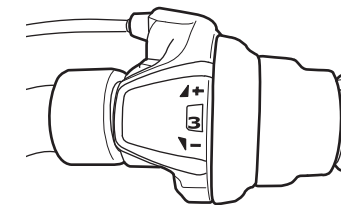
坂の手前で

6（または 7）

に合わせる

●急な坂道のとき⇒降りて押す。

停止するとき



停止する手前で

3（または 4）

に合わせる

●ブレーキは、後を先に（又は前後同時に）かけ、サドルにまたがったまま、両足を地面に着いて停止する。

乗ったあとは… 折りたたみ手順

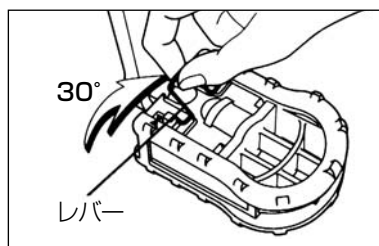
1 ペダルを折りたたむ。

⚠ 注意

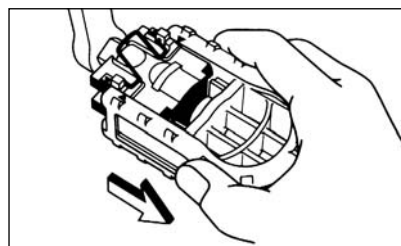
■側板の外側を持って作業する

❗ 手や指をはさむおそれがあります。

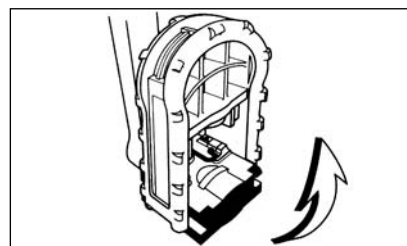
①レバーを30° 引き上げる
(30° 以上無理に引き上げない)



②レバーを引き上げたまま、側板を外側に引き出す



③側板をレバー側に折りたたむ
(反対側には折りたたみません)

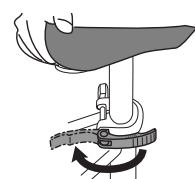


2 サドルを下げる。

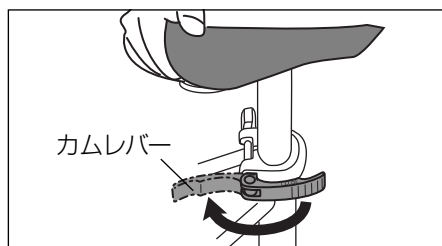
⚠ 注意

■カムレバーをゆるめるときは、サドルを支え持つ

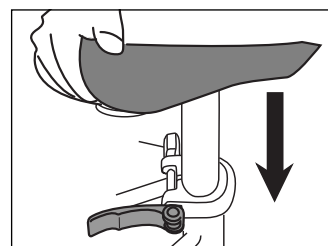
❗ サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。



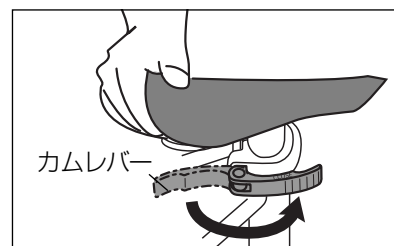
①サドルを支え持ちながらカムレバーをゆるめる。



②サドルを下げる。

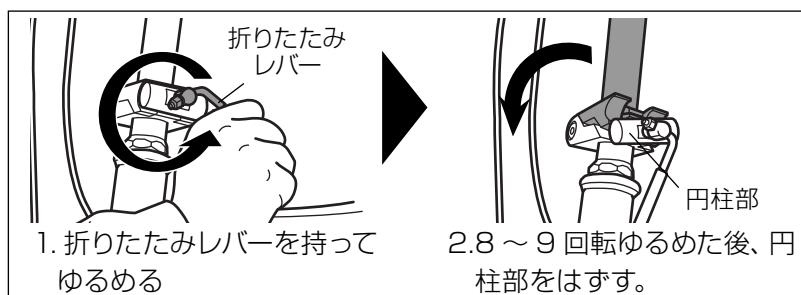


③カムレバーを回転させずに、開閉によって締付ける。

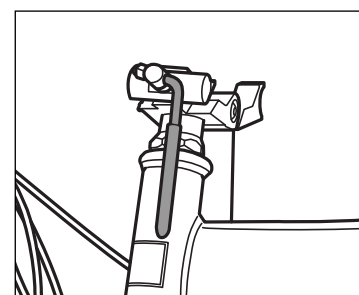


3 ハンドルを折りたたむ。

①折りたたみレバーを持ち上げ、反時計方向に回転させてゆるめる。



②ハンドルを折りたたむ。



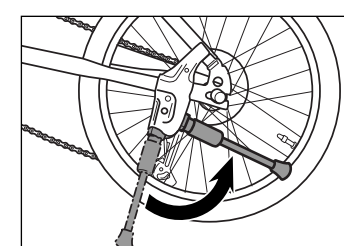
4 フレームを折りたたむ。

⚠ 注意

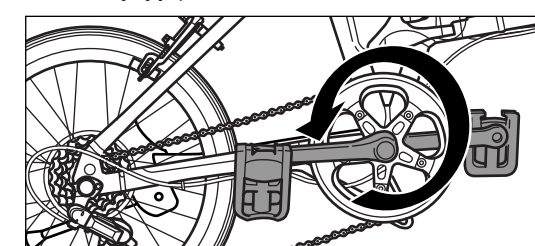
■ジョイント部分を持って開かない

❗ 指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

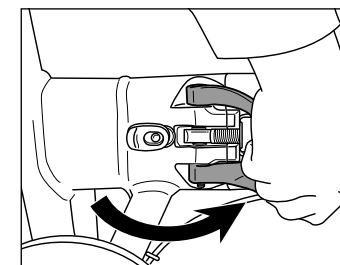
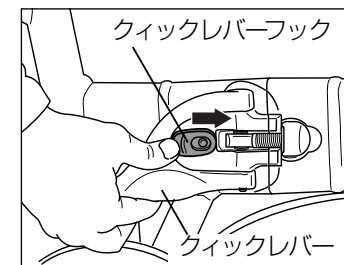
①スタンドを上げる。



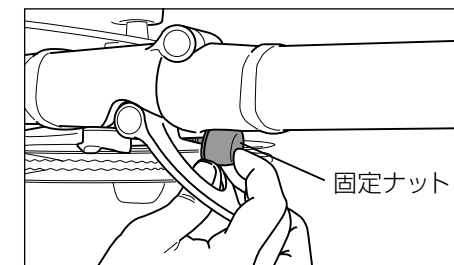
②右側のペダルが後方になるように、ギヤクランクを回転する。



③クイックレバーフックを前方に押しながら、クイックレバーを進行方向(前方)へ回転させる。



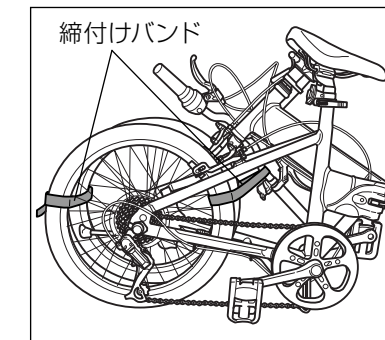
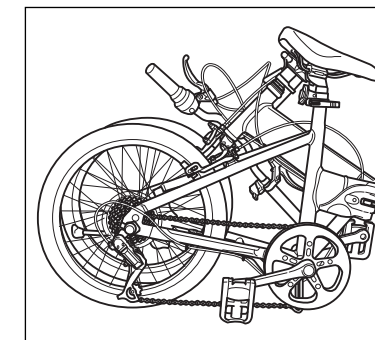
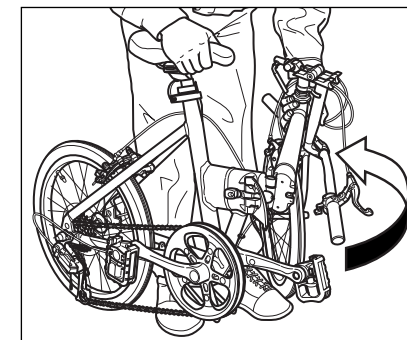
④ジョイント部の固定ナットの
前側に指を掛けて引き出す。



お知らせ

●折りたたみレバーが進行方向(前方)に向いていないと、ジョイント部の固定ナットは、引き出すことができません。

⑤自転車の前半分を反時計方向に回転させて折りたたみ、前後の車輪とハンドルを付属の締付けバンド(2本)で結束する。



お願い

●前後の車輪が平行になるように、均等に結束してください。
●折りたたんだ状態での持ち運びは、自転車を両手でしっかり持ち、周囲の人、物に十分注意して行ってください。

お手入れ

■ 日常のお手入れは、

乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
がんな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。



■ 汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。
注油禁止場所には注油しないでください。（ 25 ページ）

■ 塗装部（フレーム体など）

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■ めっき部（ハブ、ディレーラなど）

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■ 樹脂部（サドル、ペダルなど）

ついた油は、すぐ、乾いた布でふき取ってください。

■ 湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ アルミリム使用車

雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。
（黒く変色するのを防ぎます。）

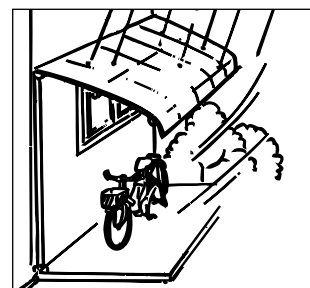
お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）
- サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）

保 管 ／ 廃 棄

■ 保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。
雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。



■ 廃棄するときは、

自転車廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

警告

■リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない



注油禁止

ブレーキが効かなくなり、
衝突や転倒のおそれがあります。



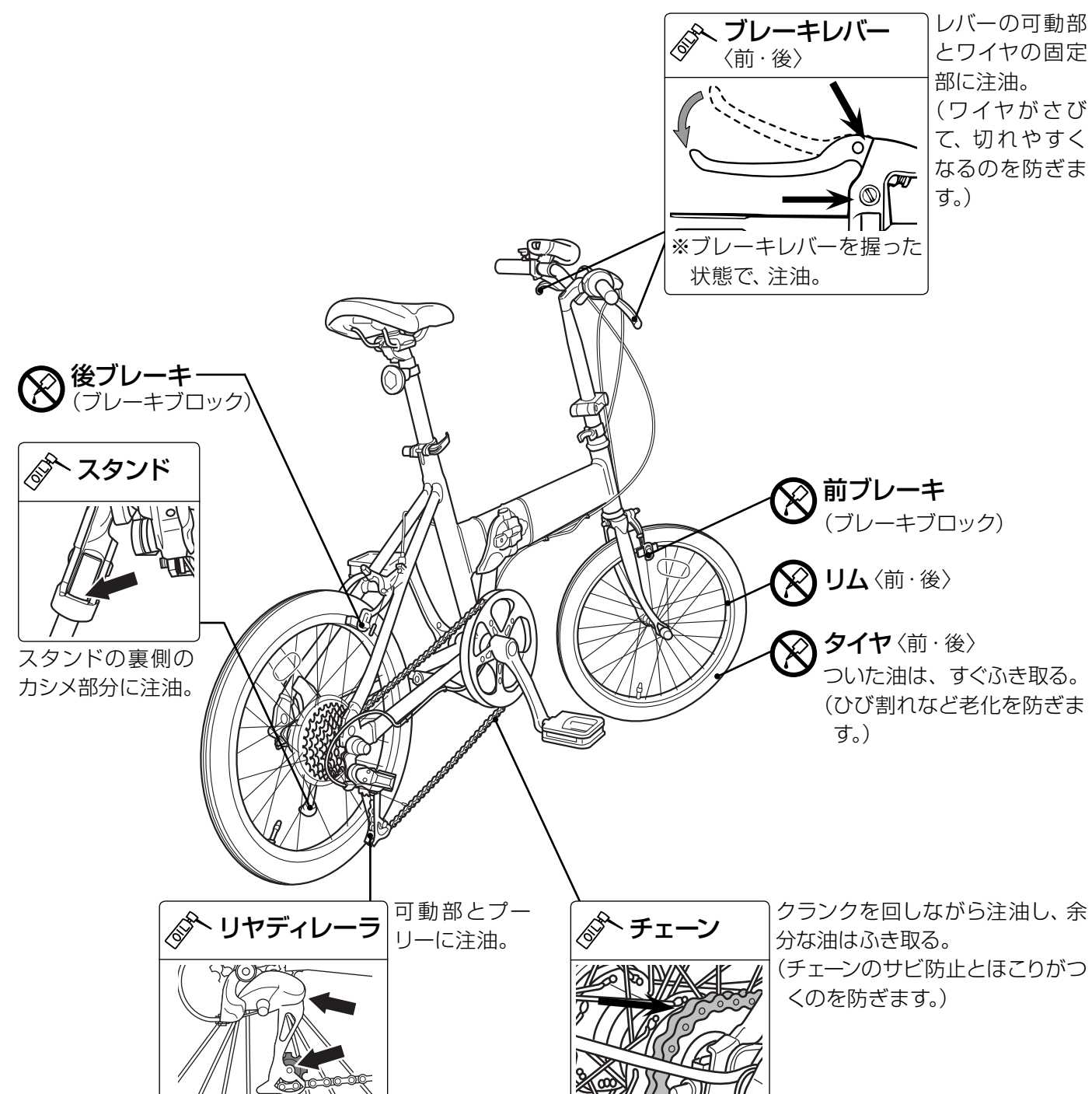
このマークは、注油場所を示します。



このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

- 油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



定期点検



警告

■定期点検は、必ず実施する



異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する



- ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 ヶ月目）点検と、6 ヶ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2 ヶ月目）の点検と整備

お買い上げ2 ヶ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2 回目以降（6 ヶ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検

定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか

- 異常音がする
- がたつきやゆるみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効きが悪い

お願い

●点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電 話 () —
品 番	車体番号
キー番号	防犯登録番号

盗難補償について

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の60パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

(2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税込）の60パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡しします。

(3) 盗難補償できない場合

- イ. (2) の書類がそろわない場合

ハ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合

ホ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合
- ロ. 補償期間が過ぎている場合

ニ. 防犯登録がされていない場合

ヘ. 景品などの贈呈品の場合

お知らせ

- 生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- 新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、

お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、

お買い上げの販売店にご相談ください。

この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

BAA マーク



「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。

「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。

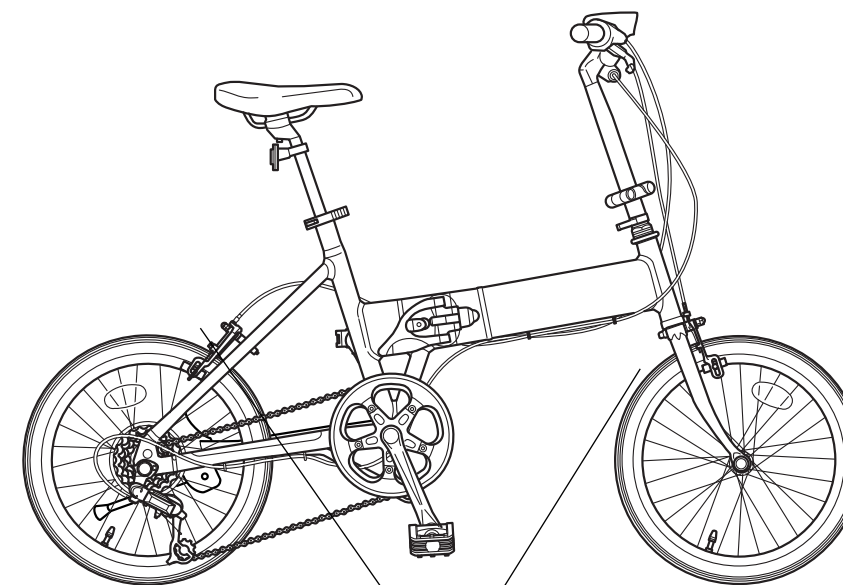
※ BAA＝自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

取付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に販売店にご確認ください。
（掲載している品番は 2008 年 11 月 現在のものです。）
- 形状や価格等詳細については、販売店でご相談ください。

お知らせ

- リヤキャリア・幼児用座席は取付けできません。



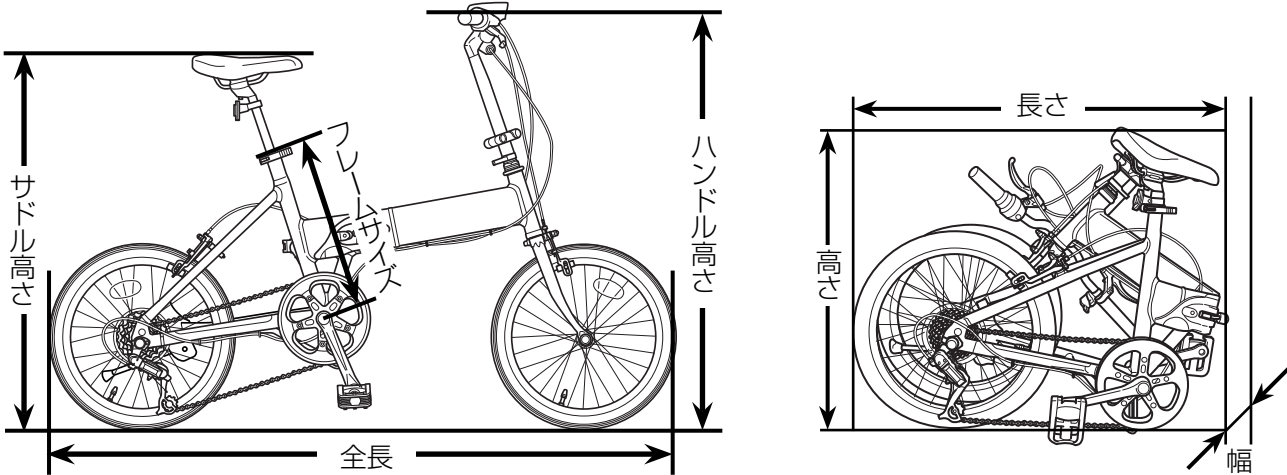
どろよけ（前後とも）
SDD005B5（ブラック）
SDD005S5（シルバー）

輪行バッグ
NAR048

品 番		B-TW872E
寸 法	フレームサイズ	380 mm
	全 長	1,440 mm
	ハンドル高さ	950 mm
	サドル高さ	750 ～ 920 mm
	折りたたみ時	高さ：660 mm
		長さ：840 mm
		幅 ：360 mm
フレーム		18 インチ H 型 折りたたみフレーム
フレーム材質		アルミ
ハンドル		折たたみハンドル
前ホーク		スチール
ペダル		折たたみペダル
ブレーキ（前後）		キャリパブレーキ
変速機方式		外装 7 段グリップ式シフト
スタンド		一本スタンド
タイヤ（前後）		18 × 1.5 HE
リム		アルミ
付属品		ワイヤ錠（ダイヤル式）／締付けバンド（2 本）
乗車適応身長		136 cm 以上

- 乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
- 寸法は、部品のばらつきや、仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。
- この車種は、乗員体重を 65 kg で基本設計いたしております。
従って、著しくオーバーした体重の方が、常用された場合は、消耗度合や劣化度合が大きくなる場合があります。

●寸法について



必要なとき